

---

# パンダ

三須田直樹

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

パンダ

### 【Nコード】

N5354K

### 【作者名】

三須田直樹

### 【あらすじ】

パンダがパンダであり、パンダがパンダでないことを分かってほしくてこの作品を書きました。

私はあえてレッサーパンダをパンダと呼びたい。

パンダは最初、パンダだった。パンダはパンダという名前を持ち、パンダという名前と呼ばれ、パンダとして生活していた。もしかしたら、パンダ自身には自分がパンダだという自覚はなかったかもしれない。しかし、名前というものは人からそう呼ばれるからという理由で存在している場合も多く、パンダがパンダという名を自覚していなかったという理由でパンダをパンダという名前で呼んではいけないかというところでもないはずである。むしろ、積極的にパンダと呼び、パンダ自身にパンダという名を自覚させることを促してやる必要があるのではないか。

とにかく、最初パンダは地球上で唯一パンダという名前を持ち、パンダとして生活していたのだ。

しかし、いつの頃からか、パンダはパンダではなくなった。パンダのほかにパンダが発見されたからだ。パンダが発見されてから、皆さんはパンダの方をパンダと呼ばなくなり、パンダの方をパンダと呼ぶようになった。パンダこそが最初にパンダだったのにパンダの出現のおかげでパンダはパンダと呼ばれなくなってしまったのだ。なんと、憤慨すべきことだろうか。なんと悲しむべきことであろうか。このこと後から出てきたパンダにパンダはパンダという名を奪われてしまったのだ。

そもそもあのような図体のでかいパンダがパンダと呼ばれていていいものだろうか。否、パンダというものはもっと小さくて、茶色っぽくて、かわいらしいものでなくてはならない。それこそがパンダであり、それすなわちパンダなのである。

だから、パンダの生息地はどこですかと聞かれたら、皆さんは中国と答えては絶対にいけない。ネパールかブータンと答えなくては

ならない。なぜなら、中国に住むパンダは先ほどから言うようにパンダではないからだ。ネパールやブータンの森に住んでいるパンダこそがパンダなのだ。

私はここに強く確信した。パンダはパンダではない。パンダがパンダだ。私は他の誰が何と言おうとパンダのことをパンダとはいいません。そしてパンダのことをパンダと呼ぶことをここに堅く誓いたいと思う。

パンダ万歳。

(後書き)

パンダはパンダです。

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能<sup>たんのう</sup>してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n5354k/>

---

パンダ

2011年1月27日11時49分発行